

第124回 男女共同参画会議 女性に対する暴力に関する専門調査会
議事要旨

(開催要領)

- 1 日時 令和6年4月18日(木) 17:00~19:00
- 2 場所 中央合同庁舎第8号館8階特別中会議室 (WEB会議システムを利用)
- 3 出席者
会長 小西 聖子 武蔵野大学副学長・人間科学部教授
委員 可児 康則 弁護士・名古屋第一法律事務所
同 北仲 千里 広島大学ハラスメント相談室准教授、NPO 法人全国女性シェルターネットワーク共同代表
同 木幡 美子 株式会社フジテレビジョン報道局解説委員
同 後藤 弘子 千葉大学理事・副学長
同 種部 恭子 医療法人社団藤聖会女性クリニック We!TOYAMA 代表
同 納米 恵美子 全国女性会館協議会代表理事
同 橋爪 隆 東京大学大学院法学政治学研究科教授
同 渡邊 正樹 東京学芸大学名誉教授

(議事次第)

- 1 開会
- 2 議事
(1) 「男女間における暴力に関する調査」(令和5年度)の結果について
(2) 「女性活躍・男女共同参画の重点方針2024」の策定に向けて
- 3 閉会

(配布資料)

- 資料1-1 「男女間における暴力に関する調査」(令和5年度)調査結果のポイント
資料1-2 「男女間における暴力に関する調査」(令和5年度)報告書<概要版>
資料2 性犯罪・性暴力対策の進捗状況について
資料3 改正配偶者暴力防止法の施行に係る取組状況について
資料4 質問事項一覧
資料5 今後の重点項目について

参考資料1 女性に対する暴力に関する専門調査会 委員名簿

参考資料2 「女性活躍・男女共同参画の重点方針2023」(抜粋)

(議事概要)

議事(1)について、「男女間における暴力に関する調査」(令和5年度)の結果の概要を内閣府か

ら説明した後、北仲委員及び種部委員からそれぞれ、当該調査の結果の中で特に注目した点等について発言があった。

議事（２）について、内閣府から資料２及び資料３について説明の後、事前提出された専門委員の質問に対して担当省庁から回答した。その後、専門委員から今後取り組むべき課題について意見を聴取した。